

私たちの活動や意見を平和のなかまたちに伝えます
私たちの会費が日本平和委員会と茨城県平和委員会の活動を支えています



土浦平和の会

ニュースNo.188 2007年10月

発行 土浦平和の会

事務局 土浦市神立町2664-2

TEL 831-9122

http://www.geocities.jp/ino011_jp/

先送りだけの急場しのぎでは許されない！

どしどしみる福田政権

一般に、福田首相に對しては「ひょうひょうどしている」とか外見で評価するむきがあるようですが、彼がこれまでどういうことをしてきたか、そしていま自民党が向かっているのか、それを踏まえて福田政権をみる必要があります。

福田氏は、森、小泉両内閣の官房長官を長くやってきました。また、十一月に自民党が正式にも、小泉内閣の官房長官として「構造改革」路線の作成過程で、とりわけを推進し、貧困と格差を九条破壊規定をつくる小

専修大学名誉教授(憲法学)

隅野隆徳さん



改憲の動きに警戒

委員会の委員長として、ここでも中心的な役割を果たしてきました。その責任も問わなければなりません。

現在も、この改憲案の実現を目指すことが自民党の大きな方向性になっているということが重要です。今度の参院選で、本当は、国民はそこまで「ノー」といったのですが、福田氏にはその認識が弱い。

やはり依然として対米追従の改憲路線を基本にしています。安倍政権は解釈改憲と明文改憲を両面から追求する方向性をとっていました。その点、福田政権では、明文改憲は、とりあえず前面に押し出さなうなっています。しかし、やはり依然として改憲への動きは続いています。

解釈改憲については、今度はテロ特措法による海上自衛隊の派兵の継続の議論を、より問題のある「新法」や、場合によっては、恒久派兵法へと結び付けていくかもしれない。恒久法で民主党政の立場どうもすびついでいくのか。そこが、番危険です。国民としては、きちんと警戒し、監視を強めていく必要があると思います。

一方、参院選での国民の審判で、自民党は、改憲スケジュールの変更を余儀なくされた面もあります。改憲手続き法に盛り込まれた憲法審査会も臨時国会では、いまのところ動いていません。始動させないといけないが、必要です。

教育基本法の改憲など、政権側が全体として戦争体制を整備してきていることも事実ですが、次のステップに進めてはならない。日本国憲法の原則の方に引き戻していくことが大切です。

参院で与野党が逆転した結果、野党が反対を押し通し、国民が声をあげていけば、テロ特措法を廃案にできます。航空自衛隊のイランでの活動も中止することができれば、国際的にも非常に重要な意味を持ちます。そういう成果を、一歩一歩獲得することが憲法を生かしていく重要なステップになっていくと思えます。

新しい首相に就任して以来テレビの前ではいつでもニコニコ笑顔を見せる福田総理ですが、自ら「背水の陣内閣」と名づけた新内閣は、先の参院選挙で国民から突きつけられた増税、貧困、格差、対米追従のテロ特措法、改憲NOの意思表示に対して、次の総選挙において勝つための手直しを迫られています。

高齢者医療費負担増凍結、児童扶養手当削減凍結、障害者自立支援法見直しなどは選挙対策に過ぎないことは見え透いています。法案の抜本的改正でない限り、小泉、安倍内閣の「構造改革」路線の見直しではなく、先送りであることは明白です。ニコニコ笑顔の裏に隠された本音を見逃してはなりません。

隅野氏の指摘の通り福田氏は自民党の本流の中で「構造改革」「改憲」路線を進めてきた張本人であることを忘れてはなりません。



しんぶん赤旗9/27から転載

私たちの活動や意見を平和のなかまたちに伝えます
 私たちの会費が日本平和委員会と茨城県平和委員会の活動を支えています

15日から日米共同訓練（百里基地）

米軍三沢基地から F16 戦闘機も参加

防衛省は百里基地で、15日から19日の5日間の日程で日米共同訓練を行なうことを明らかにしました。参加するのは米軍三沢基地のF16 戦闘機5機程度で参加人員は約80人としています。日本側では百里基地所属のF15 戦闘機2機から4機程度が参加する予定です。三沢基地のF16は敵防空網制圧の任務で敵地のレーダー網や対空ミサイル網を破壊する役割を担うといわれています。

イラク戦争にも出撃したF16は電子戦用の対レーダーミサイルHARMを搭載して防空システムを破壊する専門部隊です。99年には釜石山中で訓練中に民家から数百メートルの地点に墜落する事故を起こしています。

訓練は鹿島灘沖の百里基地訓練空域で行なわれるといいますが、百里基地所属の自衛隊機の訓練でも分かるとおり、大洗や東海村の原子力研究所近辺も飛行しています。乱暴な米軍殴りこみ部隊の訓練では、事故の危険性ははるかに大きいといえます。いま米軍機来るなの運動が重要な段階です。

平和委員会は9月29日から全県リレー宣伝行動を行なっていますが、かすみがうら市は10月1日、土浦市は10月2日宣伝カーによる市内宣伝をおこないました。なお共同訓練初日には現地で抗議行動をおこないに抗議の申し入れをおこないます。

米軍機くるな 秋の市民集会

と き 10月21日（日）午後1時30分～

ところ 県立青少年会館大ホール（県立歴史館前）

講演 新原昭治（日本平和委員会理事） 活動報告と討論

活動ごよみ

10・ 1 F15 来るな街頭宣伝（かすみがうら）
 10・ 2 同上 （土浦市内）
 10・16 平和の会理事会（コープ土浦）

10・19 つくば地区反戦集会（竹園公園）
 10・21 米軍機くるな集会（水戸市青少年会館）
 10・21 土浦母親大会（市内藤沢小学校）